

総務建設産業委員会

付託案件

☆平成20年度一般会計歳入歳出決算の認定
その他6件
☆平成21年度一般会計補正予算
その他5件

主な審査の内容

- Q** 不納欠損で、5年以上滞納者への対応はどのようにしているか。
- A** 不動産を、差し押さえすれば時効が中断するので、5年以上経過した滞納者へも、催告書を出している。
- Q** 昨年9月発生の災害復旧の進捗状況は。
- A** 順次測量等調査し着工しているが、今後も、関係機関と協議し進めていきたい。町たばこ税について、大きく落ち込んできたがその状況から
- Q** 賞味期限のあるものは、地区で有効に利用し、テナト等は、いざというときに使用できるように訓練等実施していた。大型資機材は今後更に充実させていきたい。
- Q** 養老鉄道について、決算

A 原因は何が考えられるか。

A タスポカード導入や健康志向による。

Q 各区の防災備品についての取り扱いはどうに考えているか。

A 賞味期限のあるものは、地区で有効に利用し、テナト等は、いざというときに使用できるように訓練等実施していた。大型資機材は今後更に充実させていきたい。

見ると、人件費を削減しないと経営の展望が開けないと思うが。

A 会社としては、安全に運営するには従業員を教育しなければならぬなど、経費がかかるとの意向がある。町としては他市町と連携して問題解決に当たりたい。

Q 北部簡易水道の使用量が減ってきたこと、有収水量率が低い原因は何か。

A 大口の方が自家水道に切り替えられたことにより減りとなった。また有収水量率

が低いのは漏水や消火栓の目的外使用等によるものと考えられる。

Q 農業集落排水事業について、各地区の収支のバランスと処理能力についての見解は。

A 公共施設の有無、汚泥量等処理地区毎に条件が異なる為一概に言えない。また処理能力については、処理対象人口と使用対象人口との差が余裕分となる。使用対象人口が超えている地区については、処理機械運転

時間の調整等をしながら対応している。

Q 下水処理料金を従量制にする事についての進捗状況は。

A 多くの問題を含んでいるので、今後も引き続き検討していく。

Q 池田温泉の臨時職員賃金が減ってきているが、サービスの低下につながらないか。

A 賃金単価は下がっていないが、コスト削減も考慮するなか、人員配置の見直しにより減となった。

Q 使用されていない火の見やぐらを、町で撤去出来ないか。

A 所有形態により町の撤去も考えられるが、地元とよく協議していきたい。

Q 緊急雇用対策事業の内容は。

A 道路河川、施設の点検美化等、池田町の条件に合致した事業を出来る限りリストアップし取り組んでいる。



災害復旧工事中のコウトケ谷～大津谷



災害復旧工事中の鎌ヶ谷（霞間ヶ溪）